

議第15号議案

北朝鮮の核実験・弾道ミサイルの発射に強く抗議し、国際社会の連携を基に平和的・外交的解決に関する決議

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成29年9月21日提出

提出者	新座市議会議員	辻 実 樹
賛成者	〃	笠原 進
	〃	亀田博子
	〃	高邑朋矢
	〃	平松大佑
	〃	塩田和久

提 案 理 由

北朝鮮の核実験・弾道ミサイルの発射に強く抗議し、国際社会の連携を基に、平和的・外交的に解決することを求めるため、この案を提出する。

北朝鮮の核実験・弾道ミサイルの発射に強く抗議し、国際社会の連携
を基に平和的・外交的解決に関する決議

北朝鮮は9月3日、昨年9月に続く6回目の核実験を強行した。9月15日、太平洋上に向けて、通告なしに日本列島の上空を飛び越える弾道ミサイルの発射を強行した。北朝鮮の核実験は、今年だけでも14回行った弾道ミサイル発射とともに、世界と地域の平和と安全にとって重大な脅威であり、国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に明白に違反する暴挙である。それは、国際社会が追求している「対話による解決」に逆行する行為であり、核兵器禁止条約の採択など「核兵器のない世界」を求める世界の大勢にも逆らうものである。本議会は、この暴挙を糾弾し、強く抗議するものである。

今の最大の危険は、米朝両国の軍事的緊張がエスカレートする下で、当事者たちの意図にも反して、偶発的な事態や誤算などによって軍事衝突が引き起こされる現実の可能性が生まれ、強まっていることにある。万が一にもそうした事態が引き起こされるならば、日本もその深刻な被害を免れることはできない。おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は、絶対に回避しなければならない。9月11日に全会一致で採択された国連安保理決議は、経済制裁強化の措置を決定するとともに、「対話を通じた平和的・包括的な解決」を呼び掛けている。

よって本議会は、北朝鮮に対して、これ以上の軍事的な挑発を直ちに中止するよう強く求めるとともに、米朝両国が軍事的な対応をエスカレートさせることなく、現在の危機を打開するために対話に踏み出し、平和的・外交的解決に結び付けることを強く要望する。

以上、決議する。

平成29年9月 日

埼玉県新座市議会